



ほうらい

教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和6年 1月30日
第41号 文責：亀丸

冬休み作品展

22日から24日までの3日間、冬休み作品展が開かれました。ホールには子ども達が冬休み中に取り組んだ自由研究や工作などの作品が展示されました。簡単に手に入る身近な素材を活用し、つい手にとって使ってみたくなるような、またはずっと飾っていたくなるような作品ばかりです。ネットで検索してアイデアを膨らませた子もいるのではないのでしょうか。情報収集も大切な力の一つです。得た情報をもとに準備や作業を重ねて一つの形にしていくことは、子ども達にとって貴重な経験となったでしょう。保護者の皆様のご指導・ご支援に感謝いたします。今号ではそのいくつかを紹介します。

「家族読書カード」の取組へのご協力にも感謝いたします。



1年 小泉 結人さん
「ハンバーガーセット」
ごま・トマトの種など、食材の細やかな表現が秀逸



2年 星 新奈さん
「やさい」
何種類もの紙を使い分け、野菜を本物そっくり表現



3年 和賀 彩那さん
「お正月かざり」
ビーズでせんりょうを表現、ブルーの花が美しい



4年 小野寺 歩夢さん
「ふんわり丸いランプシェード」
風船に和紙を貼って丸くシェードを成形する工夫



5年 和賀 真大さん
「辰」
竜は分割して足や角も再現、山の雪の表現もきれい



6年 菅原 紗枝さん
「伊達正宗のかぶと」
特徴的な三日月の前立てや兜の形を見事に再現

冬休みの作品にふさわしい、正月飾りや干支の辰にちなんだ作品が多く見られました。子ども達が、竜のように高く力強く昇る1年であってほしいです。

裏面は作品発表会の様子です。

冬休み作品発表会

25日に作品発表会が行われました。各学年の代表の子ども達は、冬休みの学習の成果物である自由研究や工作、手芸などを発表しました。学団ごとに実施しました。上の学年が司会進行を務めました。下の学年も上の学年の発表に対して質問や意見を出すなど活発なやり取りのある会になりました。

本校では授業の中で「対話による学び合い」を位置付け、「相手意識をもって発表する」ことや「しっかり聞くことで他者の意見を理解したり、新たな考えをもったりする」力を高める学習を意識的に行っています。発表会での子ども達の様子を見てみると、少しずつではありますがそのような力が付いてきていることを感じます。発表者はできるだけ聞いている人に伝わりやすいように説明していました。また、聞いている方は、発表後に積極的に感想等を話すことができていました。

これから子ども達が生きていく世の中では、予測不能で困難な様々な課題を、対話を通して解決していく力が重要になってくると考えられます。小学校段階なりの対話の力をしっかりと身に付けさせる学びをこれからも継続して行っていきたいと思います。



1年 菊地 湊太さん
「じょうききかんしゃ」

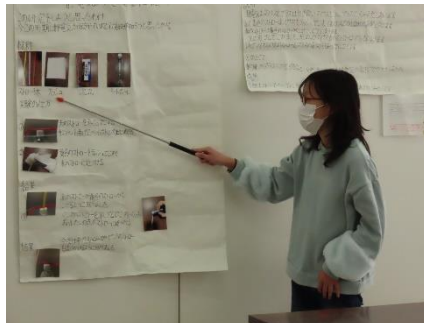
一学期の「でんしゃ」の続きですね。筒状にするところが上手です。牛乳パック、段ボール、ティッシュボックスと紙を使い分けています。

2年 辻山 煌大さん
「すばこ」

巣箱の外壁の部分だけだと思っていたら、屋根の部分はずれ、中には藁や柔らかい素材で作った巣がありました。すぐに鳥が来そうです。

3年 金 果純さん
「かんたんにつくれるチーズ」

レモン汁の酸で牛乳のたんぱく質を凝固させてチーズを作りました。食品中のたんぱく質の凝固は、他の学年の子も取り組んでいました。



4年 菊池 奈那さん
「ゴミからマシュマロ」

ゴミに含まれているゼラチンの凝固作用を応用して、マシュマロに変身させています。写真を用いて、作り方を説明しました。

5年 小野寺 美涼さん
「静電気のできる仕組み」

色違いのストローをティッシュや消しゴムでこすり、静電気を発生させ、引き合う・反発する様子から極が発生していること確かめました。

6年 菊地 希さん
「海外の主食について」

世界の国の主食を予想し、確かめるために作物の作付分布地図を活用した点が素晴らしいです。麦・米・いも・雑穀と主食も様々ですね。